

貝毒フランクtonモニタリング速報(YC6)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
2025年4月14日
中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					Atsc 細胞/L	その他 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走 (7.0)	4/7	0	0.73	32.02	0	0	0	0	0	
		10	-0.9	32.32	0	0	0	0	0	
		20	-1.1	32.57	0	0	0	0	0	
		30	-1.3	32.78	0	0	0	0	0	
標津 (5.0)	4/11	0	2.08	31.65	0	0	0	0	0	
		5	0.08	31.81	0	0	0	0	0	
		10	-0.2	31.84	0	0	0	0	0	
		15	-0.3	31.84	0	0	0	0	0	

Atsc= Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (Alexandrium catenella (Group I)とAlexandrium pacificum (Group IV)を含む), At/m = Alexandrium tamutum/Alexandrium minutum アレキサンドリウム・タム・タム/アレキサンドリウム・ミニータム(有毒種の可能性)
Ao=Alexandrium ostenferudii (有毒種)
Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ
Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント
麻痺性原因種Atscは出現していません。
下痢性原因種は出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 品田晃良)

貝毒フランクtonモニタリング速報(YC5)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
2025年4月11日
中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					Atsc 細胞/L	その他 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (5.0)	4/3	0	6.9	33.39	0	0	0	0	0	
		10	7.14	33.76	0	0	0	0	0	
		20	7.2	33.81	0	0	0	10	0	
		30	7.23	33.82	0	0	0	0	0	
猿払 -	4/1	0	5.1	32.95	0	0	0	0	0	
		10	5.2	33.19	0	0	0	0	0	
		15	5.21	33.2	0	0	0	0	0	
		20	5.21	33.2	0	0	0	0	0	
サロマ湖 (1.9)	4/9	0	5.24	28.08	0	0	0	0	0	Dn20,Dro10
		3	3.27	31.6	0	0	0	50	30	
		6	2.46	32.03	0	0	0	0	0	
		9	2.27	32.31	0	0	0	0	0	
		12	2.36	32.44	0	0	0	0	0	
		14	2.56	32.65	0	0	0	0	0	
常呂 (7.0)	4/6	0	0.6	25.5	0	0	0	0	0	
		10	1.7	32.8	0	0	0	0	0	
		20	4.3	33.1	0	0	0	10	0	
		30	3.1	33.1	0	0	0	0	0	
能取湖 (4.0)	4/2	0	1.95	31.89	0	0	0	0	0	
		10	1.6	32.1	0	0	0	0	0	

Atsc= Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (Alexandrium catenella (Group I)とAlexandrium pacificum (Group IV)を含む), At/m = Alexandrium tamutum/Alexandrium minutum アレキサンドリウム・タム・タム/アレキサンドリウム・ミニタム(有毒種の可能性)
Ao=Alexandrium ostenferudii (有毒種)
Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ
Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atscは出現していません。

下痢性原因種は増毛でデイノフィシス・アキュミナータ、
サロマ湖でデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルウェジカ、
常呂でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 宮園 章, 品田晃良)

貝毒フランクtonモニタリング速報(YC4)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
2025年4月4日
中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					Atsc	その他	Df	Da	D属の他種	
					細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
厚岸 (2.0)	4/1	0	2.16	31.47	0		0	0	0	
		5	1.65	31.75	0		0	10	30	Dn30
		10	1.12	32.22	0		0	0	0	
		13	0.96	32.29	0		0	0	0	

Atsc= Alexandrium tamarense species complex アレキサンDRリウム タマレンセ スピースーズ コンプレックス (Alexadnrium catenella (Group I)とAlexandrium pacificum (Group IV)を含む), At/m = Alexandrium tamutum/Alexandrium minutum アレキサンDRリウム・タムータム/アレキサンDRリウム・ミニータム(有毒種の可能性)
Ao=Alexandrium ostenferudii (有毒種)
Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ
Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント
麻痺性原因種Atscは出現していません。

下痢性原因種は厚岸でデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:海洋環境グループ 宮園 章, 品田晃良)

貝毒フランクtonモニタリング速報(YC3)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
2025年3月27日
中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					Atsc	その他	Df	Da	D属の他種	
					細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
標津 (4.0)	3/25	0	-0.2	31.64	0		0	0	0	
		5	-1.1	32.75	0		0	20	0	
		10	-1.2	31.78	0		0	0	0	
		15	-1.2	31.78	0		0	10	0	
厚岸 (2.0)	3/10	0	1.1	31.64	0		0	0	10	Dn10
		5	0.89	32.49	0		0	0	0	
		10	0.66	32.57	0		0	0	0	
		13	0.63	32.61	0		0	0	0	

Atsc= Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピースーズ コンプレックス (Alexandrium catenella (Group I)とAlexandrium pacificum (Group IV)を含む), At/m = Alexandrium tamutum/Alexandrium minutum アレキサンドリウム・タムタム/アレキサンドリウム・ミニタム(有毒種の可能性)
Ao=Alexandrium ostenferudii (有毒種)
Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ
Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント
麻痺性原因種Atscは出現していません。
下痢性原因種は標津でデイノフィシス・アキュミナータ、
厚岸でデイノフィシス・ノルウェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

貝毒フランクtonモニタリング速報(YC2)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
2025年2月27日
中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					Atsc	その他	Df	Da	D属の他種	
標津 (11.0)	2/25	0	-0.3	32.08	0		0	10	0	
		5	-0.3	32.11	0		0	0	0	
		10	-0.3	32.15	0		0	10	0	
		15	-0.3	32.15	0		0	0	0	
厚岸 (5.0)	2/12	0	-0.7	-	0		0	0	0	
		5	0.35	-	0		0	0	0	
		10	0.77	-	0		0	0	0	
		13	0.81	-	0		0	0	0	

Atsc= Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (Alexadnrium catenella (Group I)とAlexandrium pacificum (Group IV)を含む), At/m = Alexandrium tamutum/Alexandrium minutum アレキサンドリウム・タム・タム/アレキサンドリウム・ミニュータム(有毒種の可能性)
Ao=Alexandrium ostenferudii (有毒種)
Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ
Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェンカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ
Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント
麻痺性原因種Atscは出現していません。
下痢性原因種は標津でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

貝毒フランクtonモニタリング速報(YC1)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
2025年1月17日
中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					Atsc	その他	Df	Da	D属の他種	
標津 (14.0)	1/15	0	2.19	31.97	0		0	20	0	
		5	2.18	31.95	0		0	20	0	
		10	2.18	31.95	0		0	30	0	
		15	2.2	31.95	0		0	0	0	
厚岸 (5.0)	1/14	0	1.41	32.33	0		0	0	0	
		5	1.4	32.34	0		0	10	0	
		10	1.49	32.37	0		0	0	10	Dn10
		13	1.45	32.37	0		0	0	0	

Atsc= Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (Alexadnrium catenella (Group I)とAlexandrium pacificum (Group IV)を含む), At/m = Alexandrium tamutum/Alexandrium minutum アレキサンドリウム・タムータム/アレキサンドリウム・ミニータム(有毒種の可能性)
Ao=Alexandrium ostenferudii (有毒種)
Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ
Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント
麻痺性原因種Atscは出現していません。

下痢性原因種は標津でデイノフィシス・アキュミナータ、
厚岸でデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)